

原料費調整制度に基づく2024年10月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年10月検針分の単位料金を調整した結果、2024年9月検針分と比べ、1 m^3 (45MJ)につき2.06円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に36 m^3 のガスをお使いになる標準家庭で2024年9月検針分と比較して、74円(消費税込)ガス料金が上がります。

なお、2024年10月検針分は、経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」^{*1}実施に伴い、17.5円/ m^3 の値引きを行っております。

補助金適用前との比較では、標準家庭で630円(消費税込)の引き下げとなります。

2024年10月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

^{*1} 2024年9月～10月検針分は17.5円/ m^3 の値引き単価、2024年11月検針分は10円/ m^3 の値引き単価となります。

詳細は経済産業省の電気・ガス料金支援サイト (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>) をご覧ください。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24 m^3	料金表B 25～500 m^3	料金表C 501 m^3 ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/ m^3)	160.10	138.55	125.93
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/ m^3)	177.60	156.05	143.43
(参考) 9月 調整単位料金	158.04	136.49	123.87

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 36 m^3 (45MJ/ m^3)	2024年 9月 ^{*2}	2024年 10月 ^{*2}	増減
適用料金(円/月)	6,209	6,283	74

【参考】補助金適用前	
2024年 10月 適用料金	補助金適用 前後の差
6,913	630

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

^{*2} 経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い、17.5円/ m^3 値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2024年4月～2024年6月 の平均 (9月検針分)	2024年5月～2024年7月 の平均 (10月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	87,870	90,320	2,450
LNG	91,230	93,830	2,600
LPG	96,000	97,380	1,380
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	33,000	35,400	2,400

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値) = $\frac{93,830}{97,380} \times 0.9206$
+ LPG平均原料価格(貿易統計値) = $\frac{97,380}{97,380} \times 0.0405$
= $\frac{90,323.78}{90,320}$ 円/t
↓(10円未満四捨五入)
90,320 円/t

■ 原料価格変動額の算定

90,320 円/t - 54,870 円/t = 35,450 円/t
↓(100円未満切捨て)
35,400 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

単位料金調整額 = $\frac{35,400}{100} \times 0.0858^{*3}$ 円
(補助金適用前)
= 30.37 円^{*4}

*3 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

単位料金調整額 = 30.37 円 - 17.5 円 = 12.87 円
(補助金適用後)

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区
本体料金(税込) = 基本料金(1,296.10円)
+ 調整単位料金($\frac{125.68}{6.283}$ 円) + $\frac{12.87}{6.283}$ 円) × 36m³
= 6,283 円
・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。